

事務 事業名	コード1	1740	消防庫整備事業	課	消防本部総務課			
	コード2			所属班	消防団班			
				<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	電話番号	63-5355	内線	82
政策 体系	基本方針	1	安全で魅力のあるまちづくり	予算	会計			
	施策	4	消防・防災対策	科目	一般会計			
	施策の展開	1	消防・防災体制の充実	根拠	消防組織法第18条第2項及び消防力の整備指針			
	基本事業	51	消防車両・消防庫の整備	法令				

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	既存の消防庫の内、耐震性に難があり老朽化が顕著な消防庫から建築していく。消防団活動を支援すること、地域防災拠点としても活用していく。土地は地元区で選定し、無償で借り受けて市が消防庫を建築する。 【業務の流れ】 毎年2箇所ずつ新築し、10年間で20棟(鉄骨造り)を建築する予定

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)
12-3-5手数料 13-1-2602設計管理委託料 15-1-2305 消防庫改築工事 15-4-5 解体・撤去工事 19-1-220 上水道 給水申込納付金
② 延べ業務時間の内訳
土地の選定、地権者との契約、事業執行等の起案、各種申請書類の作成、各工程による検査立会い

事業費内訳	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
		(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	(計画)
国庫支出金	千円						
都道府県支出金	千円	3,844	2,184	5,059	5,166		
地方債	千円	17,300	10,350	23,700	27,900		
その他	千円						
一般財源	千円	1,925	575	2,098	8,707		
事業費計(A)	千円	23,069	13,109	30,857	41,773	0	0
正規職員従事人数	人	0.30	0.30	0.30	0.30		
延べ業務時間	時間	40	40	45	45		
人件費計(B)	千円	152	152	171	171	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	23,221	13,261	31,028	41,944	0	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 第3中隊(海上)2分団3部 鉄骨平屋建て1棟	ア 消防庫(鉄骨造)20棟		(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	(計画)
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 第4中隊(飯岡)2分団1部 3分団3部 2棟	イ ウ							
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	・消防団	ア 既存の消防庫		(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	(計画)
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
・火災発生時の消防車両、ホース等の配備 ・台風、地震などの災害時の団員の待機所、住民の避難所	ア 継続的な消防庫の設置 (消防庫 20棟)		(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	(計画)	
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	災害発生時に地元市民への救助活動の拠点として活用する	ア 毎年2棟ずつ新築していく ()		(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	(計画)
		イ ()							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
消防団が設置された当時よりある。合併前(海上・飯岡・干潟)の消防庫は各地区で建築するため、耐震性に問題がある。消防団の活動拠点として市が建築することにより統一した消防庫が建築することができる。	・新築する消防庫の土地の選定が難しい。借り受ける地権者がいても無償貸与の契約を締結できない。	・消防団の活動拠点として、地区の安全安心が図れるので喜ばれている。・市が建築するので地元の金銭の負担がなくなっている。

事務事業名	消防庫整備事業	課名	消防本部総務課	班名	消防団班
-------	---------	----	---------	----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 今後も計画的に消防庫を新築することにより、市の安全で住みよい街づくりに貢献できる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 現在も消防団の消防庫として利用していて、変更する必要は無い。
有効性 評価	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 鉄骨造りで防災拠点として消防庫を建築すると建設費が高価になる。市の事業として行うことによりどの地区にも統一した消防庫が建築することができる。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 今後も毎年2棟ずつ計画的に消防庫を新築する。
効率性 評価	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 土地の選定を地区で行っており、土地を確保するのが難しい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 消防庫に配備してある消防車両は消防団員しか乗車できない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・一番時間がかかり人件費が計上される用地交渉を地区で行っているため、1棟当りのコストは変化はないと思う。消防団の適正人員の見直しにより、消防庫も再編されると思われる、消防庫も減少となるのでは考えられる。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 設計・監理業務は委託しているので担当職員は、工事中の検査等の立会いであるが、臨時職員等を活用することは、不適である。
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 消防庫については利用する団体が限定されているのが、災害等発生時において市民への救助等災害に対応する拠点であるので一部の受益者に偏っていることは無い。市が建築することにより統一した消防庫を配備できるので公平・公正と思われる。	

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業は概ね適切に執行されている。建築用地によっては、既存の消防庫があった土地であっても地盤改良が必要であったので、事業費増とならないよう土地の選定が重要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																								
①平成28年度までに消防団組織・定数の見直しを完了する。 ②平成28年度までに20棟の建築を完了する。 ③消防庫用地は無償貸与であるが、土地の確保が難しい。 ④																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
①市の人口、面積等を勘案して、消防団員の適正な団員数を算出する。 ②県の補助が無い年度も市単独事業として行えるか。 ③区長、地権者の地元の理解がないと土地の選定ができない。 ④																								